

ニンニクで元気モリモリ

町技術員連絡協議会では、水田転作推進品目としてニンニク栽培をおこないました。

このニンニクは、健康食品の原料として使用されます。

町技術員連絡協議会で永野に設置した展示圃では、昨年9月25日に植え付けをおこない、半年後の5月12日に収穫。その後、乾燥・精製して6月下旬に出荷し5aで約350kgの収量がありました。

役場経済課の坂元隆志技師は「町内でも4戸の農家に取り組んでいただき、10a当たり500~900kgの収量となりました。栽培にも手がかからず、契約栽培で収量が安定すれば高齢者にとっても、いい作物だと思われます。」と話していました。

今後町では、ニンニクの栽培も推進していきますので、栽培を希望される方は経済課までご連絡ください。



▶展示圃でのニンニク収穫の様

おいしいトマトを最新の設備で！ 中津川南部トマト生産組合施設完成

7月7日、中津川弓之尾に建設中だった中津川南部トマト生産組合の中期展張型ハウスが完成し、現地で竣工式がおこなわれました。

この中期展張型ハウスは、国、県、町の補助金を受けて作られたもので総事業費は約6,500万円。風速65メートルまで耐えることができるなど気象災害に強く、またハイワイヤー方式の導入で労力軽減が見込まれます。

組合長の楠元公信さんは「35年間トマトを作ってきましたが、台風や季節はおびえていました。このハウスは気象災害に強いとのことですから安心して作れると思います。これから品質の良いもの恥ずかしくないものを作っていきたい。」と話されました。



◀完成した中津川南部トマト生産組合中期展張型ハウス

びっくり箱



〔作文〕

中学生になって

薩摩中一年 岩下佳樹君

中学生になってから早くも一学期が終わります。最初のころは、小学校と違う点がたくさんあり、少し不安な気持ちでしたが、今ではすっかり中学校生活に慣れて、とても楽しく毎日を過ごしています。中学校は、いろいろな行事がたくさんあって、中には小学校ではなかった弁論大会や合唱祭など中学生らしい行事があつて、毎日が充実しています。部活動もさかんで、それぞれの部活動から毎日のように大きなかけ声が聞こえてきます。他にも、授業時間が増えたり、教科が増えたりするの

で学びがいがあります。小学校では、児童会があつたけれど、中学校は生徒会に変わり、生徒自身の力で学校を変えていくという目的があります。僕も一年一組の生徒代表として、この学校に大いに貢献していきたいと思いま

す。さて、僕が薩摩中学校に入つてよかったなと思うことがあります。その一つは委員会や選択授業などを自分で選べることです。自分で選んでいくから、指示をされて決められるよりもやりがいがあるからです。次にとつても学校の人達がやさしくて、安心して学校で過ごせることです。他にも、みんなやる気があり、行事も真剣に取り組むこと、授業を分かりやすく先生が指導してくださるので、授業が楽しいことなどです。

次に大変なことは、毎日の自転車通学です。特に部活の後、ものすごく疲れているのでとてもたいへんです。また、授業についていくのもとてもたいへんです。小学校のころよりさらに難しくなっているし、教科の担当の先生がいてそれぞれの教え方が違っているの、ノートの取り方などがとてもたいへんです。最後ががんばりたいことは、体育大会や文化祭などの行事に積極的に参加し、クラスの代表としてみんなを引っ張っていくことです。そのために